

<その他、取組に特徴のある事例>

○鳥獣と戦う集落作り

1. 集落協定の概要

| | | | | |
|-----------------|------------------------------------------------------------------|------------|----|-----------|
| 市町村・協定名 | 愛媛県松山市 <small>まつやまし</small> 浅海本谷・萩原 <small>あさなみほんだに はぎわら</small> | | | |
| 協定面積 100.2ha | 田 (2.5%) | 畑 (97.5%) | 草地 | 採草放牧地 |
| | 水稻 | 果樹 | | |
| 交付金額 1159万円 | 個人配分 | | | 50% |
| | 共同取組活動 (50%) | 役員報酬 | | 4% |
| | | 農道水路管理・整備費 | | 13% |
| | | 鳥獣対策 | | 4% |
| | | 多面的機能増進活動 | | 19% |
| 積立金 | | 10% | | |
| 協定参加者 | 農業者 91人 | | | 開始：平成22年度 |
| 人・農地プランの作成状況 | 集落全域で作成済 | | | |

2. 取組に至る経緯

浅海本谷・萩原集落は、第2期対策時の浅海本谷集落に萩原集落が第3期対策への切り替え時に加わり、新たな集落協定として平成22年度に誕生したものである。

当集落では、高齢化や鳥獣による被害により、厳しい農業経営状況が続いているが、集落ぐるみで諸問題の解決に向け協力していくことを目標に中山間地域等直接支払制度に取り組むこととした。

3. 取組の内容

当集落は、体制整備の取り組みを選択しており、機械・農作業の共同化や高付加価値型農業の実践に取り組んでいる。

鳥獣対策についても、防護柵の設置に対して共同活動費の中から補助を出しており、毎年多くの柵の設置に取り組んでいる。

また、平成25年度には愛媛県と愛媛大学との連携事業の対象地域として、センサーカメラの設置や見回り等にも協力しており、報告会にも多くの方が参加していた。その他にも小学生の稲作体験に協力するなど将来を見据えた活動を行っている。



【総会の様子】



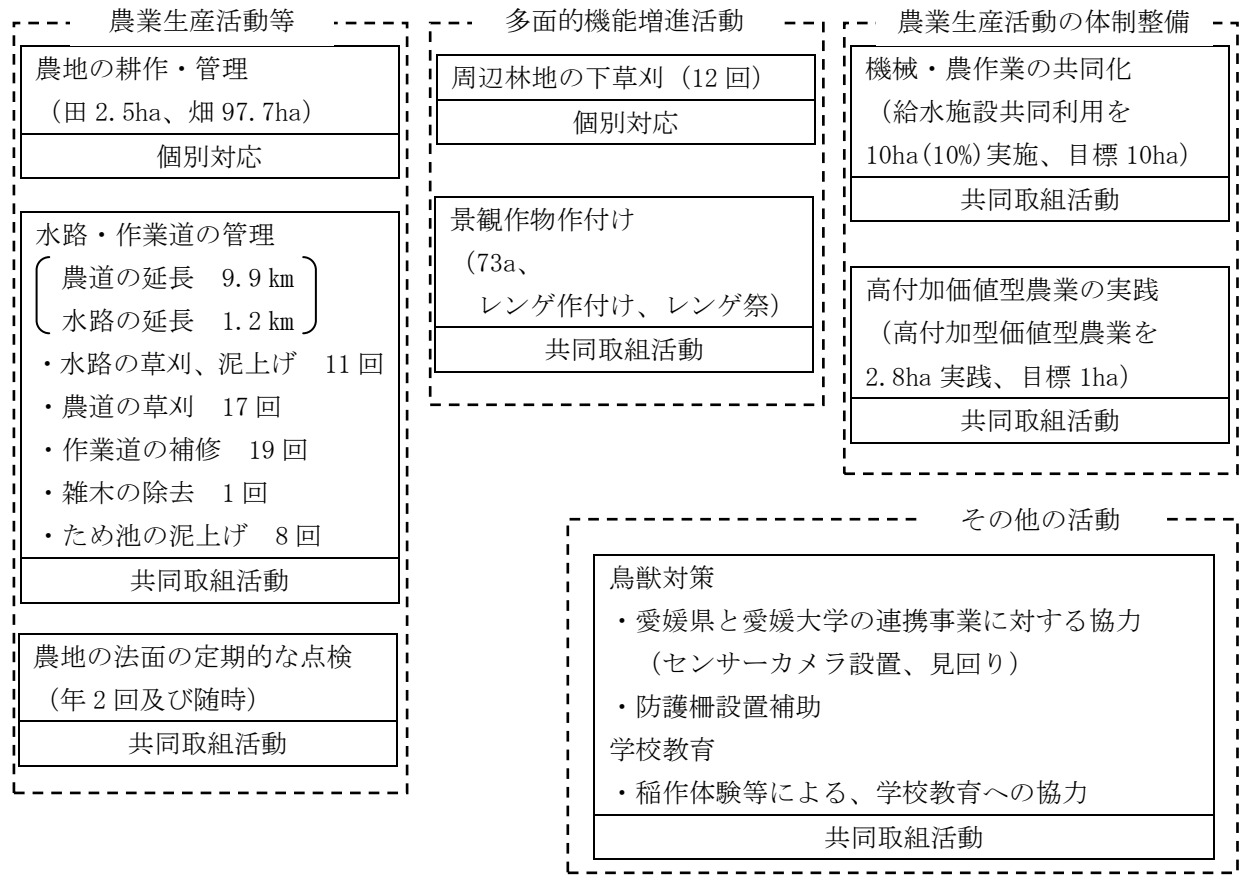
【センサーカメラ設置】

【集落の将来像】

○ 浅海本谷集落に萩原集落が参加することにより、第2期対策よりもさらに大きな範囲において集落ぐるみの活動を行い、農業生産の維持を図っていく。

【将来像を実現するための活動目標】

○ 草刈、水路清掃、鳥獣対策などを共同で行うことにより、農業の生産活動に必要な機能を維持していくとともに、稲作体験等を通して、次代を担う子供たちを育てていく。



4. 今後の課題等

集落の高齢化、担い手不足による人手不足は深刻な問題である。本制度を利用することにより、集落ぐるみの協力体制を今以上に強固なものにしていくとともに、社会教育にも積極的に協力することで、少しでも新たな担い手が育つように努めていく。

【第2期対策の主な成果】

- 景観作物の作付けによる景観の維持
- 作業道などの簡易な基盤整備の実施